

安全データシート

【製品名】 ISOLITE TEX-14

1. 化学品及び会社情報

【製品の名称】 ネクステルヤーン ネクステルクロス ネクステルテープ
ネクステルスリーブ ネクステルソーイングスレッド ネクステル縫製品

【一般名称】 アルミノホウケイ酸繊維

【推奨用途】 各種工業炉の断熱材

【使用上の制限】 推奨用途、カタログ、仕様書に記載の用途や目的以外には使用しないことを推奨する

【製造者情報】

会社名：イソライト工業株式会社
所在地：愛知県豊川市萩町向山7番地
担当部門：品質保証部
担当者：品質保証部長
電話番号：(0533)88-3113
FAX：(0533)88-2931
緊急連絡先：品質保証部 (0533)88-3113

2. 危険有害性の要約

危険性：物理的及び化学的危険性は極めて低い。

有害性：眼、皮膚、気道を刺激することがある。

加熱したものと発生する蒸気は、呼吸器系を刺激することがある。

環境への影響：環境への影響の情報はない。

GHS分類：本製品は成形品なので対象外

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：該当しない

注意喚起語：該当しない

取り扱い注意：予防策、対応、保管、廃棄については下記4～8、13の項を参照。

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物：混合物

	CAS番号	官報公示整理番号	含有量(%)	安衛法通知対象物 ¹⁾	PRTR法 ²⁾	
					第一種	第二種
アルミノホウケイ酸繊維	12788-79-3	該当なし	96.5-99.5	—	非該当	非該当
有機系サイジング処理剤	営業秘密	営業秘密	0.5-3.5	—	非該当	非該当

1) 労働安全衛生法、

2) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

化学成分：Al₂O₃ 60～64%，SiO₂ 22～26%，B₂O₃ 12～16%

成分に関する特記事項：本品の成分はTSCAに適合している。

4. 応急措置

- 眼に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼する。直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚についた場合：直ちに多量の水で皮膚を洗浄する。徴候・症状が現れた場合は、
医師の診断を受ける。
- 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動させる。徴候・症状が現れた場合は、
医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法：不燃性なので、火災時の措置は特にない。
- 消火剤：不燃性、周辺火災に適した消火剤を使用する。
- 火災時における暴露の危険：異常な火災や爆発の危険性は考えられない。
- 使ってはならない消火剤：知見はない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：新鮮な空気での場所を換気する。

環境に対する注意事項：環境への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

- ・漏洩した物質を出来る限り多く掃き集め回収する。
- ・密閉容器に収納する。
- ・残さを清掃する。
- ・容器を密封する。
- ・回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・熱している材料に触れないこと。
- ・切断又は研磨作業中に発生する粉じんの吸入を避けること。
- ・摂取してはいけない。
- ・作業後及び食事前には手を洗うこと。

保管：

通常の倉庫で保管する。直射日光を避けて貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

アルミノホウケイ酸繊維
数値：設定されていない。
有機系サイジング処理剤
数値：設定されていない。

許容濃度：

アルミノホウケイ酸繊維
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない
ACGIH TLV：設定されていない
有機系サイジング処理剤
日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：設定されていない
ACGIH TLV：設定されていない

設備対策：

換気の良い場所で使用する。排気装置が無い場合は、適切な呼吸保護具を使用する。
加熱する場合は適切な局所排気装置を使用する。
ミスト、蒸気又は噴霧を許容濃度以下に管理するために、一般的な希釈換気又は局所排気装置を使用すること。換気が十分でない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具、個人防護：

呼吸保護具

空気中の浮遊物の吸入を避けること。
汚染物質の空气中濃度及び法規制に基づいて次の検定済み防毒マスクの1つを選択すること。
P100 防じんフィルターを用いた、半面防じんマスクもしくは全面防じんマスク、
P95 微粒子用フィルター付き半面又は全面形の空気清浄マスク、半面又は全面プレフィルター付き防じんマスク

保護眼鏡

眼への接触を避ける。
眼に接触することを防止するために、ゴーグル、サイドシールド付保護眼鏡など作業に適した保護具を使用する。

保護手袋

本品を扱う時は適切な手袋を着用する。

保護衣

長時間又は、反復の皮膚接触は避ける。

9. 物理的及び化学的性質

形状、色、臭い	：固体、直径7 μ m以上の織物グレード繊維、光沢のある白色、糸状又は織物
pH	：適用しない
沸点／範囲	：適用しない
融点／範囲	：> 1800°C
可燃性	：データなし
引火点	：適用しない
発火点	：未測定・不明
爆発範囲-下限(%)	：適用しない
爆発範囲-上限(%)	：適用しない
分解温度	：適用しない
n-オクタノール/ 水分分配係数	：データなし
揮発パーセント	：0.5%～3.5%
蒸気圧	：適用しない
蒸気密度	：適用しない
比重	：2.7～3.0
水溶性	：0.5～3.5重量%
蒸発速度	：適用しない
粘度	：適用しない
粒子特性	：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。
安定性	：安定。
避けるべき条件	：知見はない。
混触危険物質	：知見はない。
危険有害な分解生成物	：一酸化炭素、蟻酸、刺激性蒸気又はガス

11. 有害性情報

- ・急性毒性
データなし
- ・皮膚腐食性／刺激性
機械的な皮膚刺激： 症状はかゆみ、発赤を含むことがある。
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
眼の機械的刺激： 症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性
データなし
- ・生殖細胞変異原性
データなし
- ・発がん性
本品は、繊維のサイズが大きいので（直径7-13ミクロン）、WHOおよびECHAが定義する吸入性繊維に該当しない。非吸入性であり、発がん性のリスクは無いと考えられる。
WHOによる吸入性繊維の定義は、長さが5ミクロン以上で直径が3ミクロン以下、そして長さ対直径の比が3:1以上と定義されている。

- ・特定標的臓器毒性（単回ばく露）
データなし
 - ・特定標的臓器毒性（反復ばく露）
データなし
 - ・誤えん有害性
データなし
 - ・その他有害性情報
吸入した場合：上気道が刺激される可能性がある（症状は鼻と喉の痛み、咳、くしゃみを含むことがある）。
加熱したものから発生する蒸気は、呼吸器系を刺激することがある
飲み込んだ場合：胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は痛み、嘔吐、腹部圧痛、はきけ、嘔吐物の混血、便の混血を含むことがある）。
本品を適正な条件と当社の推奨する使用方法に従って使用する場合は、有害性は無いと考えられる。
しかしながら、当社の推奨する使用方法に従わないで使用又は加工する場合は、製品に影響を与えて危険有害性が発生する可能性がある。
-

1 2. 環境影響情報

- ・生態毒性：データなし
 - ・残留性・分解性：データなし
 - ・生体蓄積性：データなし
 - ・土壌中の移動性：データなし
 - ・オゾン層への有害性：データなし
 - ・その他環境影響情報：規制は、地域により異なることがあるので、事前に適用法令の調査を行なうか、又は役所に確認する。
-

1 3. 廃棄上の注意

- 廃棄方法：産業廃棄物処分場に廃棄する。
リサイクルの可能性：可能なら再生する。
廃棄に関する特記事項：関係法令に基づき自社で産業廃棄物として適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に処分を委託する。
-

1 4. 輸送上の注意

- 国連番号及び品名：該当しない
国連分類（IMO）：該当しない
国連分類（ICAO）：該当しない
注意事項：取り扱い及び保管上の注意の項に記載した一般的な注意による。
-

1 5. 適用法令

- 日本国内法規制（主な適用法令）：該当しない
PRTR 法指定化学物質では適用除外
-

16. その他の情報

特記事項：危険、有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

この製品安全データシートへの情報は、発行時において正確と信じられるものです。当社は、製品安全データシートの記載内容について、ある特定の目的への適合性又は、商取引への使用等については一切の保証をするものではありません。当社の製品が、ユーザー各位の特定の目的及び使用方法に適合しているか否かは、ユーザーで判断して下さい。ユーザー各位の使用条件に基づいた適正な安全管理に役立てて頂くため、当社の製品を使用する場合に影響があると考えられる種々の要因を提供したものです。

[改訂情報]

改訂年月日	内 容
08/01/15	市町村合併に伴い、記載の住所を変更した。
10/12/15	GHS対応
13/04/01	担当者変更 標題を安全データシートへ変更
16/06/01	一般名称変更 製造者情報 担当者変更 ばく露防止及び保護措置変更 物理的及び化学的性質変更 参考文献追加
16/08/01	3. 組成、成分情報のCAS番号を見直し
16/11/01	3. 組成、成分情報の変更、8. ばく露防止及び保護措置の変更
21/12/08	JISZ7253 改正に伴う表記変更
23/10/23	[製品の名称] に具体的な品種を記載。 2024年4月施行の改正安衛法に対応 [推奨用途][使用上の制限]を追加

[参考文献]

- 1) IARC : Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans Vol. 81 (2002), "Man-made Vitreous fibres
- 2) GFA、RCFA、RWA : 「人造鉱物繊維 (MMMF) 繊維数濃度測定マニュアル」 (1992)
- 3) ACGIH 「許容濃度の勧告」 (2023)
- 4) 産業医学 第64巻 第5号 : (社) 日本産業衛生学会 (2022)
- 5) CEN prEN1094-1

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。